

経営比較分析表（令和元年度決算）

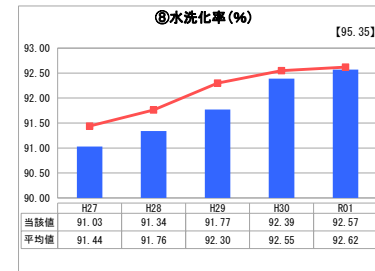
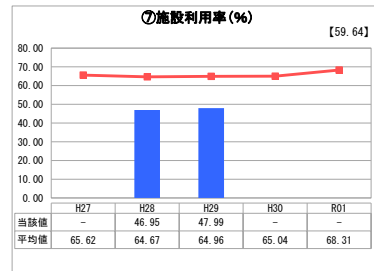
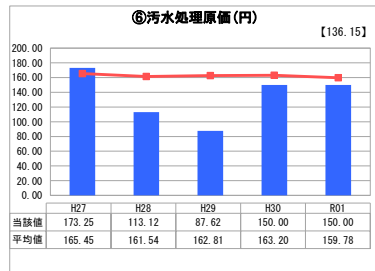
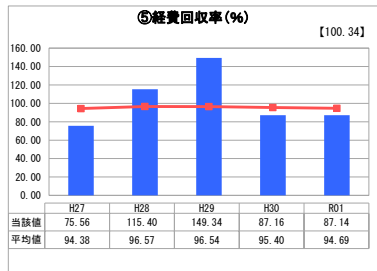
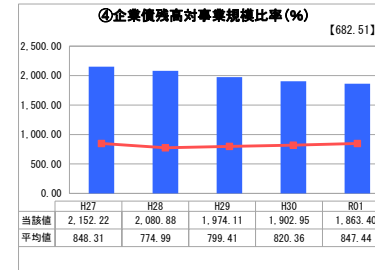
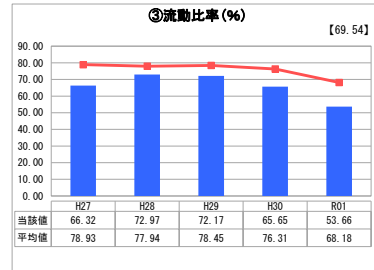
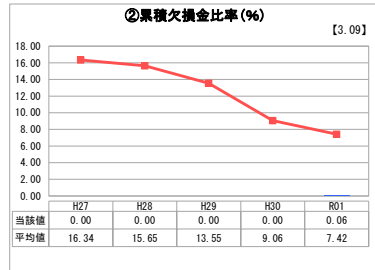
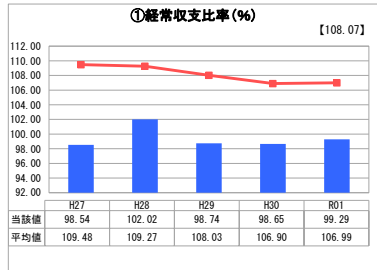
福井県 坂井市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	50.09	94.86	91.63	2,530

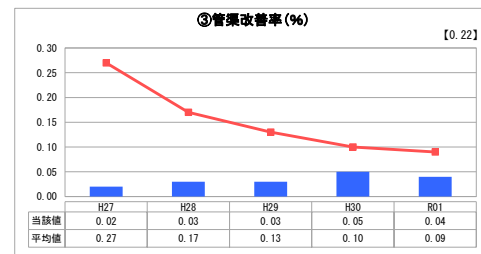
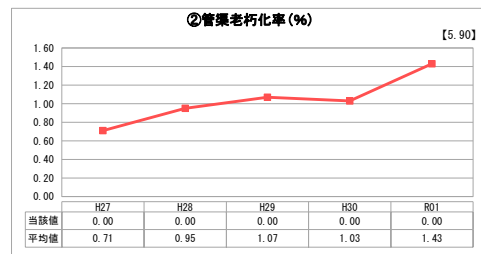
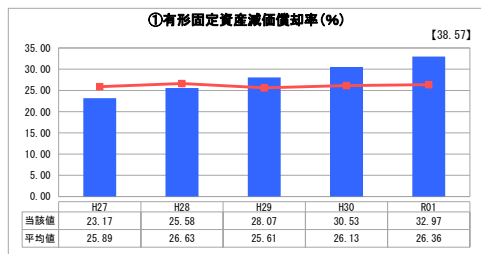
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
91,376	209.67	435.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
86,390	28.09	3,075.47

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
[] 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率が100%を下回ってはいるが、支出の大幅な減少により、ごくわずかではあるが回復している。②年々繰越利益剰余金が大きく減少し、当年後において欠損金が発生した。③流動比率は、多額の企業債償還が原因で依然として低い。しかし今後は企業債償還が減少していくので回復すると思われる。④企業債残高対事業規模比率は、類似団体と比較すると非常に高い。企業債残高が大きいこと、これに見合う収入が得られていないことが原因である。⑤汚水処理原価は類似団体と比較すると低く推移しているが、⑤経費回収率が100%に達しておらず、一般会計からの繰入金に頼っているのが現状。⑦当市は処理場が無い為、数値は発生しない。⑧整備はほぼ終了しており、水洗化率は微増。人口減少も相まって、今後の大きな上昇は見込めない。

2. 老朽化の状況について

①事業開始から40年以上が経過し、有形固定資産減価償却率の上昇が続いているが、②法定耐用年数を経過した管は無い。③管渠改善率は類似団体と比較すると低いが、老朽化していく施設の更新、改築を計画的に実施していく必要がある。

全体総括

施設の耐用年数経過を見据え、ストックマネジメント計画を立て、経営戦略を策定している。支出に見合った収入確保の為に、使用料金の改定が急務である。市民に対し、安心安全なサービスの提供、安定した下水道事業運営をしなければならないと考えている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。